

# 呼吸器外科手術後の肺瘻に対する治療 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間：** 2022年 7月 13日 ～ 2023年 12月 31日

**〔研究課題〕** 呼吸器外科手術における術後肺瘻に対する積極的治療の適切な介入時期の分析

**〔研究目的〕** 呼吸器外科手術の際に合併症として肺からの空気漏れが続くことがあります。自然に治る場合と手術などで治す場合がありますが、どういった条件のときに手術などを行うべきか良いのかよくわかっていません。その条件を明らかにすることが目的です。

**〔研究意義〕** この研究により手術などの積極的な治療が必要となる条件が明らかになれば、実際の臨床の現場で治療判断が迅速に行われ、結果として早期治療から入院期間の短縮につながると考えます

**〔対象・研究方法〕** 以前、行った下記研究のデータベースを用いて、治療を行った群と行わなかった群で比較して条件を探索します(対象研究:「肺切除後気漏れに対するドレーン管理法の多施設共同前向き観察研究」、研究主機関:関東労災病院、研究代表者:足立広幸(同院 呼吸器外科部長))。2019/1/1～2021/12/31 に下記研究参加医療機関の呼吸器外科において肺内腫瘍性病変根治切除術を行った方が対象となります。

(研究参加機関)埼玉県立循環器・呼吸器病センター、横須賀共済病院、奈良県立医科大学附属病院、横浜労災病院、帝京大学医学部附属病院、山形県立中央病院、横浜市立大学附属病院、四国がんセンター、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜南共済病院、関東労災病院、大崎市民病院、横須賀市立うわまち病院、平塚共済病院、横浜医療センター、焼津市民病院、帝京大学医学部附属溝口病院、浜松医科大学医学部附属病院、北里大学病院、済生会横浜市南部病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター

**〔研究機関名〕** 帝京大学医学部附属病院

**〔個人情報の取り扱い〕** 本研究で得られたすべてのデータはすでに簡単には個人が特定できないデータとなっており、これを用いて解析します。本学では、研究終了後に、関東労災病院から提供されたデータセット等を帝京大学臨床研究センターで10年保管し、その後に廃棄します。対象患者様がデータ使用拒否を申し出た場合、情報は各参加機関で保管されている連結表を用いて特定を行った上で速やかに削除します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 山内良兼 職名 講師  
研究分担者: 氏名 坂尾幸則 職名 教授  
氏名 齋藤雄一 職名 准教授  
所属: 医学部外科学講座  
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1  
TEL: 03-3964-1211 (代表)